

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	大正区
学校名	泉尾東小学校
学校長名	岡田 香子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に关心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・泉尾東学校では、第6学年 39名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- ・国語、算数、理科の平均正答率は、いずれも大阪市、全国平均を下回った。
- ・平均無解答率は国語、算数、理科のいずれも大阪市・全国平均を上回った。粘り強く最後まで問題に取り組む姿勢を育てる必要がある。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて問われた問題ではよくできており、全国平均並みの正答率であった。低学年から継続している朝学習での語彙力を高める学習も成果として表れているといえる。

〔算数〕 図形の持つ特徴や性質を問われる問題では、全国平均を上回る正答率であった。また四則計算にかかる問題については高い正答率を出させていた。しかしデータの活用や数量の変化とその関係を捉えるような問題については課題が見られた。

〔理科〕 領域を問わず、実験や観察の結果を分析する選択式問題においては、全国平均に近い正答率であった。しかし、結果に基づき自分の考えを記述する問題については課題が見られた。

質問調査より

全国・大阪市平均より肯定的な回答が高い結果だったものとして、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「将来の夢や目標を持ってますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」といったものが見られた。子どもの良いところを認め、承認することを全教職員が意識的に行い、また地域とのつながりを大切にした取り組みを継続してきた成果が表れているといえる。しかし、「自分には良いところがありますか」については、肯定的な回答が向上してはいるが、引き続き課題が見られる。

## 今後の取組(アクションプラン)

- ・国語の学習では、研究主題である「自分の考えを表現し、思いを伝え合う児童の育成」を通じて、伝え合う力を高めるための場の設定や、自分の考えを相手に伝わるよう言語化する力の育成、語彙力の向上に取り組む。
- ・算数の学習において、基礎基本を確実に定着できるような指導・支援を進めるとともに、反復練習を継続して行い、学習の習慣化を図っていく。
- ・理科の学習において、実験結果を通じてわかることを考え、互いの考えを伝え合い、話し合う時間を大切にしていく。
- ・教育活動全般を通して、ICTを有効に活用し、協働的な学びや個別最適な学びに取り組んでいく。また、日常的に子どもたちの良いところを認め、自己有用感を高めることで学習意欲の向上⇒学校生活全般への積極性につなげる。

## 【 全体の概要 】

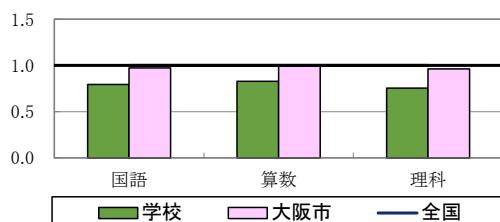
### 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	53	48	43
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

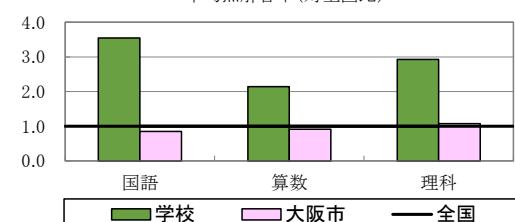
### 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	11.7	7.7	8.2
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



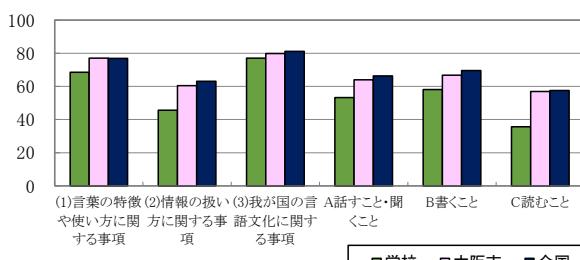
## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	68.6	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	45.7	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	77.1	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	53.3	64.0	66.3
B 書くこと	3	58.1	66.7	69.5
C 読むこと	4	35.7	56.9	57.5

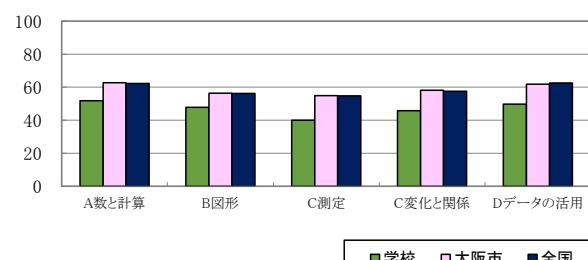
## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	51.8	62.7	62.3
B 図形	4	47.9	56.4	56.2
C 測定	2	40.0	54.9	54.8
C 変化と関係	3	45.7	58.2	57.5
D データの活用	5	49.7	61.9	62.6

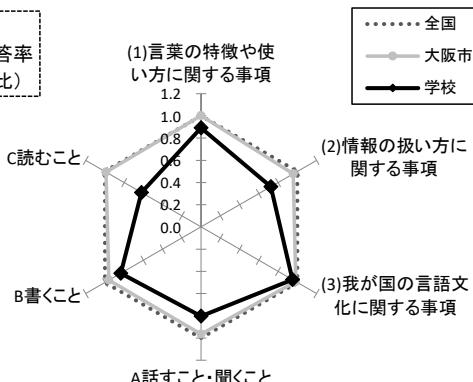
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



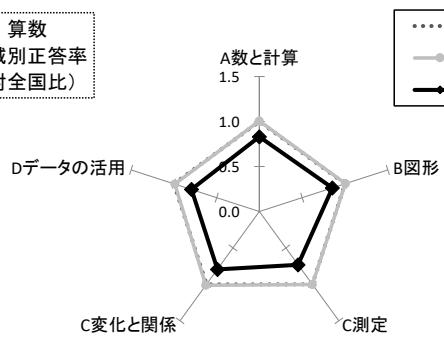
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

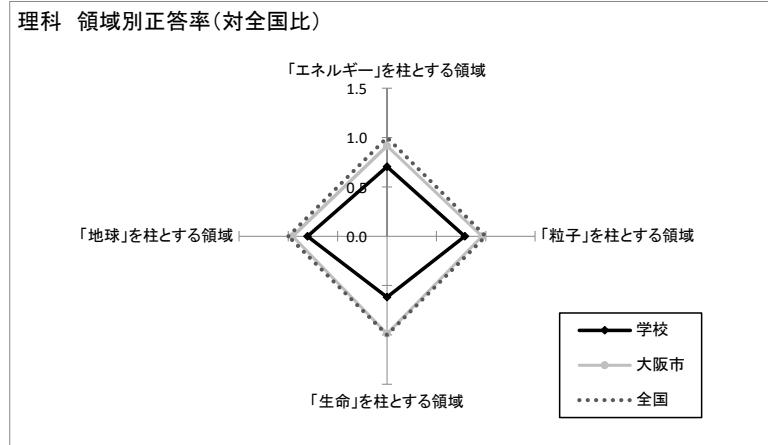
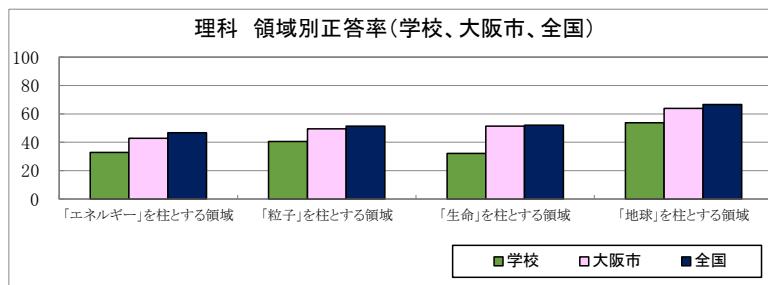


算数  
領域別正答率  
(対全国比)



## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	32.9	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	40.5	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	32.1	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	53.8	63.8



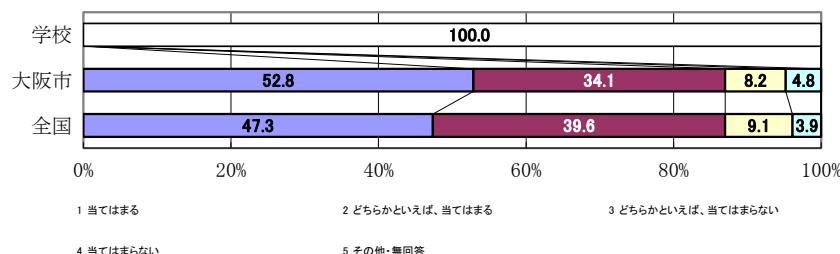
## 児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

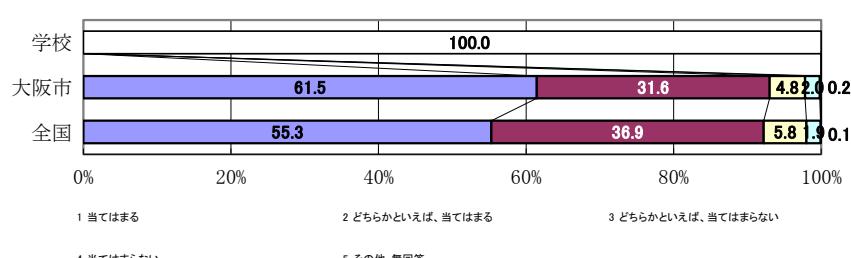
5

自分には、よいところがあると思いますか



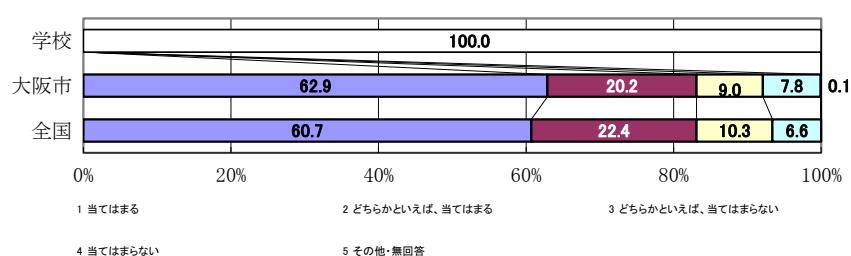
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



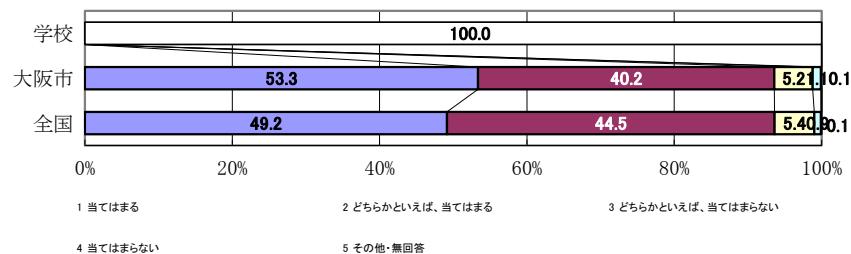
7

将来の夢や目標を持っていますか



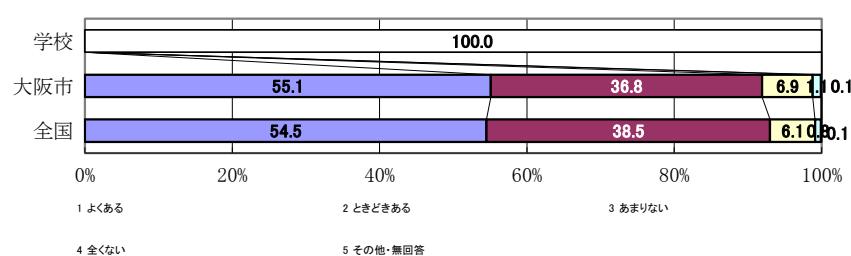
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



15

普段の生活中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



## 学校質問より

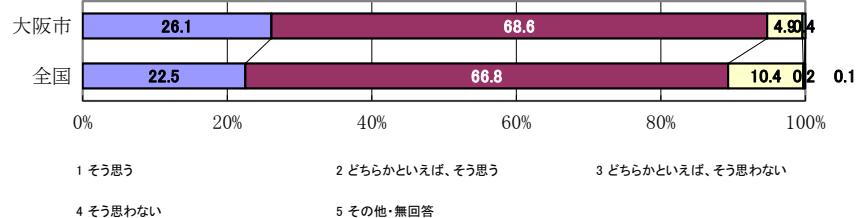
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

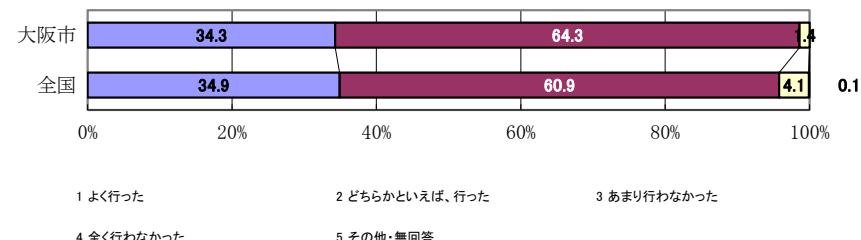
### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



43

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか

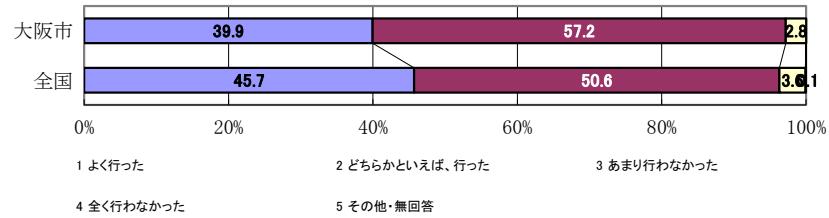
### 学校 「よく行った」を選択



47

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

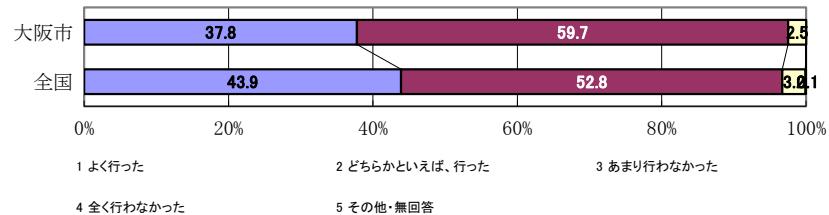
### 学校 「どちらかといえば、行った」を選択



51

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導を行いましたか

### 学校 「どちらかといえば、行った」を選択



63

調査対象学年の児童が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童一人一人に配されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

### 学校 「週3回以上」を選択

